

市政のここが聞きたい

8月定例会市議会では、8月27日、28日の両日、8人の議員が一般質問を行いました。その質問の中から1人2質問まで要約して掲載しました。
 なお、詳しい内容をお知りになりたい方は、市立図書館などで8月定例会市議会会議録（11月下旬発行予定）をご覧になるか、インターネットで検索してください。

《松浦政利》

都市計画マスタープランについて

問 都市計画マスタープランで、北部地区と西部地区に企業誘致の整備方針が示されているが、いずれも山が多く、市街化調整区域である。5ha以上の企業団地を造成するため、どのような方策を講じるのか。

答 今の財政状況では、5ha以上の企業団地を市が造成して誘致するのは難しい。現時点では、オーダーメイド方式を基本に考えていかざるを得ない。川西地区では、富原地区の地区計画が地権者の大筋の合意を得て最終段階にきている。北部地区では、数年前から企業の進出の動きはかなりあるが、地権者の同意が得られていないエリアもある。さらに積極的に進めていきたい。（市長）
 市街化区域には、工場適地や流通団地等の用地は皆無であり、今後の推進方法が課題。前もって企業団地

を造成するとすると、塩漬け状態にもなるので、景気の動向からも十分な検討が必要と考える。平成18年のまちづくり三法の改正に伴い、今後は市が策定する地区計画により開発が可能となる。今後開発業者が計画し、市、県と協議調整しながらこの方法で進めていきたい。（産業部長）

地球温暖化対策について

問 地球環境を守るためには、太陽光発電システムの利用を積極的にPRして設置を促進することが手早い方策である。県下で一番温室効果ガスを出さない市、電気を一番売れる市、売る市を目指すため、まず先頭に立って公共施設に順次取り付けていくべきと考える。今後の地球温暖化に対する取り組みを聞きたい。

答 行政としてかわれるCO2削減については、ごみの減量化、電化、排気ガス削減等限られる。補正予算で保健センター屋上に太陽光発電装置の設置



導入した電気自動車

らいたい。ゴ1やによる緑のカーテンも、部屋の温度を下げる効果が下がり、CO2の削減につながっている。先頭に立って進めていきたい。（市長）
 ◇ このほか、行政改革の取り組み、堆肥工場の建設、少子高齢化対策について質問しています。

《大熊公平》

情報化推進計画について

問 今後総合的に情報化を推進していくため、情報化推進計画の策定にどう取り組んでいくのか。
答 ホームページの現状に対する認識と、満足してもらええるホームページにするための改善点はどうか。

市長の認識と決断について

問 合併特例債事業は有利という認識だが、今後の活用計画はどうか。清音の生涯学習センター用地を、当初計画どおり合併特例債適合事業として取り組んでいくのか。
答 一度不許可となった吉備中央町への産業廃棄物処分

場建設計画が平成19年4月に再申請され、同年6月に本市と吉備中央町ともに建設に反対した。産業廃棄物処分場に対する認識と反対の決意に変わらないか。

に実施している清音駅東地区整備、清音神在本線、地域振興基金の積み立てをはじめ、学校耐震化や下倉の一般廃棄物最終処分場整備にも合併特例債が可能かを進めたい。今後、合併特例債の有効性を生かしながら、効果的な活用を図りたい。生涯学習センターは、財政状況をよく判断して検討を加えたい。

《根馬和子》

新型インフルエンザ対策について

問 ①新型インフルエンザが本格的な流行期を迎えるに当たり、市民への情報提供、学級閉鎖等の判断、医療機関との連携による実態把握や対策をどのように進めていくのか。
 ②新型インフルエンザにかかると重篤になる可能性が高い人々への対策はどのようにするのか。

答 ①厚生労働省の指針に基づいて各行政施設の臨時休校等を判断すること



インフルエンザ予防のため手を洗う児童

になる。インフルエンザ患者が大量発生の場合、各医療機関での診療体制の充実を今後、医師会と話し合い、たいし、インターネット、広報紙、民生委員等を通じて啓発に努めたい。（市長）
 国県、医師会の助言を見

ながら、学級閉鎖、臨時休校を決定したい。感染予防対策として、うがい、手洗いの励行、マスクの着用、外出の自粛等を実施している。また、マスクを1万枚程度と消毒液を各学校に配布。スプレー式の消毒液も

ユニバーサルデザインについて

問 ①すべての人が安心安全で心豊かな生活が送れるよう、ユニバーサルデザインを考えた施設、製品、

各教室に配布する予定である。（教育長）
 ②慢性疾患など持病をもっている人や幼児、高齢者などには、国が優先的に予防ワクチンを配することも予想されるが、異常があれば早急にかかりつけの医師に相談してもらいたい。市の役目。早急な手段を講じ、医師会や学校などさまざまな組織と協働しながら、対応していきたい。（市長）

◇ このほか、新型インフルエンザについて質問しています。

②この地域から浸透水や放流水が榎谷ダムに入り、将来的には高梁川に流入。この高梁川を水源とする本市、倉敷市などは飲料水の供給を受けるので、危険という認識で、この計画には先頭に立って反対の立場をとっていきたい。（市長）